



たまきゆう便り

新年のご挨拶

多摩丘陵病院 院長 島津元秀

皆様新年明けましておめでとうございます。

昨年も2020年から続いている新型コロナウイルスの猛威で世界中が被害を受け、暗く重苦しい1年でした。労働、遊興、会合、飲食、旅行など、生活全般に制約を受け、なかでも我々医療関係者は感染のリスクに晒されながらストレスの多い仕事をこなさなければなりません。7月、8月には東京オリンピック・パラリンピックが賛否両論の中、緊急事態宣言下で開催されました。アスリートの頑張りは別として、無観客で、感染者の増加もあり今一つ盛り上がりに欠けた大会になつたことは否めません。9月以降は急に感染者が減り始め、10月には2桁となり、年末まで第6波の兆候は見られておりません。減少の原因は諸説ありますが、正確なところは人知が及ばない現象のように思います。

コロナの話はこれくらいにして明るい話題に移りたいと思います。

当院では昨年、急性期医療、地域包括ケア、予防医療を中心に担う新病院の建設、回復期リハビリテーションを専門とする現病院の整備、およびこの両病院を連携させたケアミックス医療施設構想という医療法人社団幸隆会創始以来の大事業が実行に移されました。即ち2021年2月5日、新病院新築移転に向けて、現病院の約300m東南に位置する建設予定地において地鎮祭を催しました。緊急事態宣言中でしたので感染対策を万全にして参列者は少人数の関係者に絞り、施主を代表して、

町田市下小山田町
1491
発行
広報委員会
多摩丘陵病院

掛川暉夫理事長が力強く鍔入れの儀を行い、厳肅に滞りなく執り行われました。以降、新病院建設の槌音が響き始め、今年末の竣工に向けて着々と進行し、来年春に開院の予定です。

新医療施設構想の実現は我々職員一同の大きな希望と喜びですが、一方でこの施設を健全に経営し良質な医療を提供して地域医療に貢献するためには、職員全てがその責任を重く受け止めなければなりません。私が就任時に述べた「一身独立して一国独立す」 「病院があなたのために何ができるかを問うてほしい」という先人の言葉を今一度、職員全員で考える時期に来てします。

年頭に当たり、職員はもとより関係する全ての皆様方の一層のご協力とご支援をお願い申し上げます。





日の出

撮影

中野晴示
様



講演中の辻師長



令和3年度 「年末年始労働災害防止講習会」 にて講演を行いました。

令和3年12月15日、町田商工会議所にて、町田労働基準監督署・町田労働基準協会の共催による年末恒例の年末年始労働災害防止講習会が開催されました。

町田市内企業の労務担当者等が多数参加し当院の感染管理室師長で感染管理特定認定看護師の辻奈津美師長が「病院の感染管理者から見る感染対策」と題して講演を行いました。

当院の感染予防体制や予防策の説明、新型コロナウィルスとは何か新型コロナウィルスの感染成立と標準予防策、日常のケア、換気、密への対策、感染症全般の清掃、消毒方法等、今タイムリーに皆様が知りたい事についての講演内容でしたので参加された皆様も熱心にメモを取っておられました。今後も地元企業の皆様のお役に立つような講演を企画しておりますのでよろしくお願ひいたします。

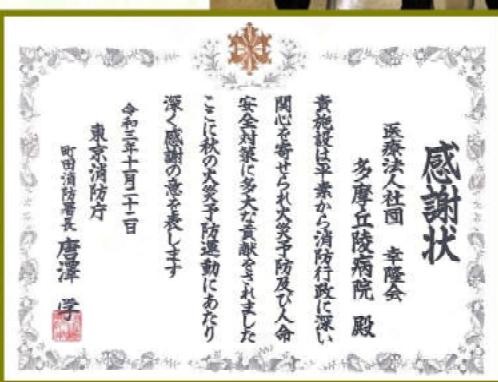
多摩丘陵病院 自衛消防隊が表彰されました！！

町田消防署より秋の火災予防運動にあたり当院自衛消防隊が自衛消防活動等の功労が認められ表彰状を授与されました、同時に病院に対しても日頃の防火・防災活動に対しての感謝状を頂きました。去る令和3年11月22日町田消防署予防課長 宮戸 美紀様 予防課防火管理係長 黒田 裕司様 予防課自衛消防担当係長 勝島 隆之様の3名様が当院に来院され、島津院長、自衛消防隊浅川隊長にそれぞれ感謝状、表彰状が手渡されました。

大変名誉な事で身の引き締まる思いであり、今後も皆様の安全・安心のために防災活動を積極的に続けまいります。



左から島津院長と
宮戸予防課長

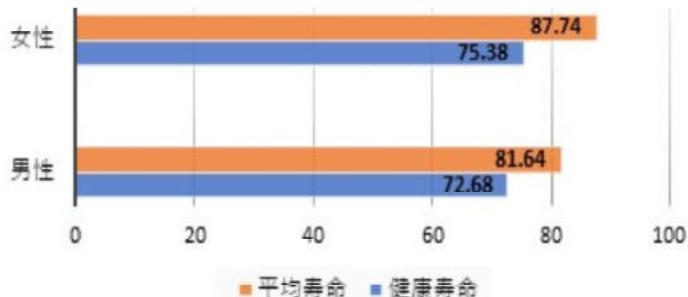


浅川自衛消防隊長
と宮戸予防課長



シリーズ健康寿命を延ばそう 第一弾～フレイルって何？～

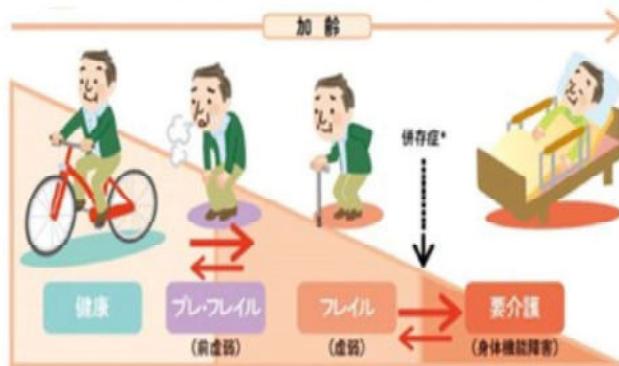
平均寿命と健康寿命の差



現在私たちの寿命は女性は87歳、男性は81歳と伸び続けています。しかし一方で自立した生活を送れる期間を表した「健康寿命」は、平均で男性は約9年、女性は約12年も短いことが分かっています。これは何かしらの介護が必要な期間が9年～12年あるということです。長い人生いつまでも元気に過ごすためには「健康寿命」を延ばすことが大切ですね。

フレイルとは？

「フレイル」という言葉を聞いたことがあるでしょうか？フレイルとは、**健康な状態から要介護状態へ移行する中間の段階**です。具体的には、加齢に伴って筋力が衰え、疲れやすく家に閉じこもりがちになるなど年齢を重ねたことで生じる衰え全般のこと、「虚弱」とも言います。脳梗塞や事故などで健康な状態から突然要介護状態に陥る場合もありますが、高齢者の多くはフレイルの時期を経て徐々に要介護状態に移行すると言われています。フレイルとは、身体的な問題だけではなく、認知機能障害やうつ等の精神的な問題や閉じこもりなど社会的な問題などの心の問題も含まれます。



フレイルは健康に戻れる可能性のある段階！！



フレイルは要介護状態の前の段階です。この段階で体や心の衰えに気づき対処することで**健康な状態に戻ることができます**。健康寿命を延ばして人生100年時代を元気に過ごしましょう。第2弾以降はフレイルの診断と予防について掲載いたします。